

無人航空機の市場動向

平成27年4月
経済産業省

1. 民生用無人航空機の種類と市場規模

- 我が国の民生用の無人航空機は、主に農業用途を中心に普及してきた。
(2015年市場規模の約7割が農薬散布用との予測あり) ※シード・プランニング「産業用無人機の現状と用途別市場動向」
- 近年、世界では、安価で小型の無人航空機(マルチコプター)が登場。全世界向けに年間約50万機以上出荷と推計。我が国でも一定規模で普及しているものと考えられる。

【民生用無人航空機のイメージ】



(出典)京商Webサイト



(出典)DJI Webサイト



(出典)フジインバック Webサイト



(出典)ヤマハWebサイト

重量

数10g～

約500g～数kg

数kg～数10kg

～約100kg超

主な用途

ホビー

ホビー/空撮

空撮/観測

農業/観測・測量

国内市場(推計機数)

国産・輸入混在と想定

小型ラジコン
数十万機～

※ある国内ラジコンメーカーからのヒアリング
→同社製「手の平サイズ」商品の累計出荷機数は約20万機。

輸入中心

50cmクラス マルチコプター
数千～数万機

※世界シェアの7割を占めるとされるDJI(中国メーカー)からのヒアリングを元に推計。
→約4.3万機/月(世界向け出荷)

国産中心

固定翼無人航空機
約100機(日本国内)
※ヒアリングによる累計稼働機数推計

国産中心

回転翼無人航空機
約2700機(日本国内)
※農林水産航空協会平成25年登録機数及び産業用ヘリメーカーへのヒアリングによる累計稼働機数推計。

2. マルチコプターの市場動向調査

- マルチコプターは、家電量販店や玩具店だけでなく、インターネットを介した流通も活性化する等、多様な流通経路から誰でも手軽に入手できるのが実情。
- 今般の事案も踏まえ、「ロボット新戦略」(平成27年2月10日 日本経済再生本部決定)にも掲げられたとおり、運用実態の把握に向けた市場動向調査に着手。
- 第一弾として、家電量販店を対象に、価格帯別に調査を実施。本調査ではインターネット通販等が含まれず、流通量の一部に限られると考えられるため、今後、さらなる実態把握を進める。

◇大手家電量販店(6社:直営店のみ)におけるマルチコプターの販売実績

	H25年度	H26年度	計
1~5万円	243	3,280	3,523
5~10万円	0	63	63
10万円以上	0	160	160

◇今後の調査項目

- 重量区分別
- 国産・輸入別
- GPS自律航行機能の有無 等

◇今後の調査対象

- インターネット通販
- 団体非加入企業 等

大手家電流通協会調べ